

# たまかわ

No.149

平成29年  
11月2日

9月定例会

## 元気よく「おっしおい」

中子保育園会による子どもみだし

### 主な内容

- 祭りの秋 ..... 2
- 歳出決算総額54億3520万円 ..... 4
- 道の駅拡張整備工事請負契約など(第1回臨時会) ... 9
- 一般質問 5人の議員が村政を質す ... 10
- 村民の声 ..... 16

# 祭りの秋



四辻新田 子どもみこし



吉 子どもみこし



小高 浦安の舞



北須釜 平鍬踊り



岩法寺 子どもみこし

# 借換により約2300万円の経費を抑制 将来に備え基金に積立

平成29年度  
一般会計  
補正予算

## あらまし

玉川村議会9月定例会は9月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。今定例会では、条例の改正や補正予算などの議案7件、決算の認定等6件、請願2件、陳情1件、議員発議1件を審議しました。また、一般質問には5名の議員が登壇し、村執行部の考えを質しました。

## 〔質疑〕

**問** 平成29年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億6925万9千円を追加し、**総額を43億3177万円**とするもの。

**答** 主な補正内容は、村債の借換や財政調整基金等への積立をするもの。村債の借換により支払が不要となる利子額は約2300万円を見込む。また、将来に備え、財政調整基金積立金に7244万円、学校等建設基金及び公共施設等整備基金積立金にそれぞれ3000万円を追加補正するもの。

**問** 認定こども園整備事業補助金826万6千円の内容は。

**答** 幼児用プールの取水及び排水の工事、子供たちが利用する畑のイノシシ対策としてフェンスを設置する工事、三輪車を格納するプレハブ倉庫の設置などに要する費用である。

**問** 米の全袋検査推進事業助成金が1600万円ほど減額となっているが、その理由と全袋検査への影響は。

**答** 当初は検査機器の更新を予定していたが、県の方針により更新しないこととなったもの。また、検査体制は昨年とほぼ同様である。



米の全袋検査

**問** 住宅使用料過誤納金還付金及び還付加算金について、使用料の過大徴収ということなのか。

**答** 住宅使用料の再確認をした結果、南須釜長内地区にある特定公共賃貸住宅において、一部の方の住宅使用料に過大算定があることが発見された。今議会に補正予算として提案し、還付する計画である。今後はこのようなことを防止するため、算定の

際には複数でチェックするなど体制を強化し、再発防止を図りたいと考えている。

**問** 消防屯所建築工費の増額の理由と内容は。

**答** 四辻分団屯所の建築であるが、消防操法大会表彰の盾などの収納ケースの設置や、敷地が接する県道の歩車道境界ブロックが消防車両の運用上支障となるため、新たに道路法24条工事が発生することなどである。

**問** 加工施設管理者賃金はどのようなものか。

**答** 現在計画している加工施設の運用にあたっては、管理者を置いて運用する必要はある。

公募により募集し、管理者には事前に研修を受けていただき、4月から運用に万全を期すため。

# 54億3520万円

財政指標は「健全」



一般会計の決算は、歳入で40億560万円、歳出で38億3412万円になり、翌年度に繰り越すべき財源を除き、実質収支額は1億4488万円の黒字となりました。

また、特別会計の決算は、歳入で17億8393万円、歳出で16億108万円となりました。

特別会計についても、各会計ともに黒字となっています。

また、健全化判断比率で見ると、財政運営は健全を維持しています。

## 各会計の決算状況

(1万円未満切り捨て)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	滞納額	
一般会計	40億560万円	38億3412万円	1億362万円	
特別会計	国民健康保険	10億5789万円	9億1676万円	3684万円
	介護保険	5億2640万円	4億9801万円	266万円
	後期高齢者医療	5036万円	5011万円	
	農業集落排水	1億4928万円	1億3620万円	960万円
合計	57億8953万円	54億3520万円	1億5272万円	
前年度合計	74億7811万円	70億3123万円	1億6032万円	
前年対比	77.4%	77.3%	95.3%	

国で示す基準値を超えた場合は、財政的に「危険」とみなされ改善に向けた計画を作成しなければなりません。

## 4つの健全化判断比率でチェック

指標	内容	28年度	27年度	比較	早期健全化基準
		①	②	①-②	
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	赤字なし		15%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	赤字なし		20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	8.2%	9.2%	▲1.0%	25%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	45.8%	60.5%	▲14.7%	350%

# 平成28年度 決算認定

# 歳出決算総額

## 28年度の主な事業



● 防災行政無線(戸別受信機)デジタル化工事  
1億4040万円



● 創業マルシェ支援事業 1634万円



● 防犯灯LED更新事業 342基 1067万円



● 産学官連携地域資源活用事業  
1633万円

## 監査委員意見

一般・特別会計の滞納金総額は1億5274万6千円で、対前年比759万7千円の減少となり取り組みの成果が出てきたように感じられ、担当者の努力の結果、各税目での収納率がアップし滞納金は対前年比減少した。しかし、まだまだ高水準で推移している。担当課を中心に情報の共有化を図り、村民の義務としての納税意識を向上させ、不公平感が発生しないよう徴収体制を更に充実させていきたい。

未登記件数、年度末359筆とのことで、毎年過年度分が処理され減少しているが、年数が経つほど所有者が複雑になり名義変更は困難になります。今後も未処理件数の早期解消に努めていただきたい。

最後になりますが、今後は農業集落排水事業、上水道整備事業、給食センター・役場庁舎建設、小・中学校統合等の大規模事業が控えており、全職員一丸となって今まで以上に経費節減の方法を検討し、財政の健全化に向けた取り組みを進めるとともに、村民福祉の向上を目指し、今後も適切かつ効率的な事務の執行に努められるよう希望する。

決算審議 一般会計

# ふるさと納税の返礼品の考え方は

**問** ふるさと納税の返

礼品などに要する経費約813万3千円は、納税決算額1473万4千円に対して55・2%と多額である。国は返礼品の割合を30%以内にすべきと周知していると思うが、村としてどのように考えるのか。

**答** また、納税の実質収支額はいくらか。

さらに、流出した財源はどのくらいか。

**答** 村では返礼品については寄附額の50%を目途にお返ししてきたが、今後は30%程度ということで対応したい。

実質収支額については、約660万円ほど歳

入が多い状況。

**答** 村外にふるさと納

税をされた方は23人、総額116万3千円と把握している。



ふるさと納税の呼びかけ(村ホームページ)

**学力診断テスト NRTとは**  
全国基準に照らして客観的に把握することができる、相対評価法による検査

**問** 財政調整基金へ28年度は1億5012万9千円を積立し、28年度末現在高は6億5297万円余りとなっているが、標準財政規模からする適正範囲を超えていると思うが、その割合は。

**答** また、将来に対する備えは必要だが、諸請願のインフラ整備に繰出すべきと思うがどうか。

**問** 学力診断テストの結果、本村の生徒の学力は県や全国平均と比較してどうなのか。

**答** 学力診断テストについては、NRTで全生徒を対象に例年実施しており、結果は県・全国平均と比較しても大差はなく、基礎的な学力は身につけていると考えている。

**答** 財政調整積立金の標準財政規模に対する率は、28年度末現在で26・9%となっている。

**答** 財政調整積立金はいろいろな事業に使うためのものであり、インフラ整備等への支出も考えながら積み立てをしている。

**答** 本人に督促や催告をしても納入されない場合には、連帯保証人と相談しながら誓約書を提出していただくなどの対応をしている。

**問** 敬老会について、本人の出席率が低いように思われる。今後団塊の世代の方々が招待されるようになる。今後の本人の出席率を高める方策、祝い金の支給も含め検討する考えはあるか。

**答** 招待者が増えることが予想されるなかで、現状のまま敬老会の開催を維持できるのか、また、過去には祝い金の額を引き下げ改革をした実績もあり、今後検討していかねばならないと考えている。

**問** 住宅使用料の未納額約2800万円あるが、保証人との関係での徴収はできないのか。

### 平成28年度上水道事業会計

## 623万円の純利益を確保するも

**水の供給実態は**

1 m <sup>3</sup> あたりの利益 (供給単価)	189.51円
1 m <sup>3</sup> あたりの給水に要した費用 (給水原価)	383.99円

# 差引 194.48円の持ち出しに

決算審議 上水道事業会計

## 有収率改善へ 漏水対策に注力を

**問** 有収率、一昨年は76.5%、昨年は83.1%と上がったが、28年度は81.1%と下がっている。漏水対策は十分だったのか。

**答** 水道施設は遠隔操作でモニタリングし監視しているが、夜間水量が大きく増えることも月に何度かあるが恒常的ではない。要因としては火災の発生件数の増減などもある。漏水対策として、配水

**有収率とは**  
給水する水量と料金として収入のあった水量の比率

管の更新事業を年次計画で実施している。

**問** 監査委員の審査意見の中に、「料金の見直し」とあるが、これは水道料金の値上げも視野に入れていかなければならないということか。

**答** 周辺市町村の状況や、今後の新浄水場からの配管送水施設の建設などを含め、総合的に検討していきたい。



水は、毎日の生活に欠かせない

## 請 願

### ● 防火水槽設置に関する請願

【内 容】 北須釜奥撫地区に防火水槽設置  
 【請 願 者】 北須釜区長 草野 道夫  
 【紹介議員】 飯島 三郎  
 【審議結果】 全会一致で採択



文教厚生常任委員会による現地調査

### ● 村道改良整備に関する請願

【内 容】 村道小 - 6号線の改良整備  
 【請 願 者】 小高区長 車田 長市郎  
 【紹介議員】 西川 良英  
 【審議結果】 全会一致で採択



総務産業建設常任委員会による現地調査

# 玉川村議会 ■ 9 月 定 例 会 ■

**審議議案と各議員の賛否** ○は賛成、×は反対、提は提出者、欠は欠席 須藤議長は採決に加わらないため空欄  
 全員が賛成の議案等については、賛否に替えて議案等の内容の概略を載せています。

議案番号	議案名	採決	小針	石井	車田	渡邊	塩澤	小林	飯島	田子	西川	三瓶	大和田	須藤	
議案第 53 号	平成 28 年度玉川村上水道事業未処分利益剰余金の処分及び決算の認定	可決	収益的収入 2 億 274 万 760 円、収益的支出 1 億 9650 万 1882 円で収支差引 623 万 8878 円の純利益 この純利益に前年度繰越利益剰余金 48 万 8057 円を合わせた 672 万 6935 円の未処分利益剰余金の処分を、減債積立金に 200 万円、建設改良積立金に 400 万円、翌年度繰越剰余金を 72 万 6935 円とするもの												
議案第 54 号	玉川村個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	個人情報の保護に関する法律等の改正に伴うもの												
議案第 55 号	玉川村税条例等の一部を改正する条例	可決	地方税法等の一部を改正する等の法律の一部を改正する法律の施行に伴うもの ・個人の村民税の所得割の非課税の計算方法の変更 ・軽自動車税のグリーン化税制(税率の軽減)の延長												
議案第 56 号	平成 29 年度玉川村一般会計補正予算(第 3 号)	可決	P 3 に掲載												
議案第 57 号	平成 29 年度玉川村介護保険特別会計補正予算(第 1 号)	可決	歳入歳出それぞれ 3168 万 4 千円を追加し、予算総額を 5 億 6888 万 8 千円とするもの												
議案第 58 号	平成 29 年度玉川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	可決	歳入歳出それぞれ 25 万 1 千円を追加し、予算総額を 5095 万 6 千円とするもの												
議案第 59 号	平成 29 年度玉川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第 2 号)	可決	款項の区分間の増減のみで予算総額に増減はない												
議案第 60 号	平成 29 年度玉川村上水道事業会計補正予算(第 1 号)	可決	収益的収入及び支出それぞれ 364 万 4 千円を追加し、予算総額を 2 億 2307 万 3 千円とするもの												
認定第 1 号	平成 28 年度玉川村一般会計歳入歳出決算の認定	認定	P 4 に掲載												
認定第 2 号	平成 28 年度玉川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P 4 に掲載												
認定第 3 号	平成 28 年度玉川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P 4 に掲載												
認定第 4 号	平成 28 年度玉川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P 4 に掲載												
認定第 5 号	平成 28 年度玉川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	P 4 に掲載												
報告第 4 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	-	P 4 に掲載 農業集落排水事業、上水道事業での資金不足はない												
請願第 3 号	村道改良整備に関する請願	採択	P 7 に掲載												
請願第 4 号	防火水槽設置に関する請願	採択	P 7 に掲載												
陳情第 1 号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	採択	全国森林環境税の創設に関する意見書の採択と提出を求めるもの												
発議第 3 号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出	可決	意見書を、内閣総理大臣ほか政府関係機関に提出												

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

**議会を傍聴しませんか** 9月定例会の傍聴人数19人(平成29年累計傍聴人数86人)  
 次回の定例会12月中旬を予定



# 村政 ここがききたい



**問** 最近、高価な土木作業機械やユニック車などが盗難にあっている。警察のパトロールだけでは盗難を未然に防ぐことがなかなかできない。防犯カメラを要所に設置、犯罪を未然に防ぐことが大事と考えるが、現在の防犯カメラの設置状況は。



要所に防犯カメラを

**Q** 防犯カメラ設置の考えは  
**A** 調査検討したい

飯島三郎 議員



**答** 今日、今日の社会状況等を考えた時、必要性は認められるので、設置について調査検討したい。

**問** は。  
**答** 今後設置する考えはない。  
**答** 現在、村では設置していない。

**問** 運転免許の返納者などにより今後、特に高齢者で移動手段をもたない村民の増加が懸念される。安い運賃で村民に喜ばれるバスを運行できないか。  
**答** 平成4年に社会福祉協議会で福祉バスを運行したが、約半年で運行をとりやめた経緯があった。

**Q** 村内巡回バスの運行は  
**A** 地域公共交通網形成計画策定の中で検討したい

**問** 運行した場合は有料か無料か。  
**答** 近隣市町村の動向を見ると、100円から200円の運賃を徴収している町村もある。先ほどの地域公共交通網形成計画及びその後策定を予定している地域公共交通再編実施計画の中で検討していきたい。

た。やめた理由は利用者が少なかったためと聞いている。  
予算の問題では、バスの購入費用や人件費、維持管理費などが考えられ多額になるものと思われる。  
運行上の問題としては、住民ニーズを把握しなければならぬ。村としては、平成30年度に地域公共交通網形成計画を策定したいと考えており、この中で検討したい。

一般質問



小針竹千代 議員

### Q 老人会への補助金増額は A 要望がない

**問** 老人会の事業は、花いっぱい運動、ゲートボール、各種開催の参加、極めて多忙な事業を行っています。老人会が健康で活動出来ることは、地域にとっても健康福祉の面でも意義のあることと考える。そこで、老人会が健康で活動出来るよ

う、補助金増額の考えはあるか伺う。

**答** 村老人クラブ連合会及び各単位老人クラブにおいては、ボランティア活動、スポーツ活動、文化活動をされており村の振興発展に貢献されている。平成29年度は、連合会へ42万1千円、各単位老人会10団体へ53万3100円、また、花いっぱい運動、別枠で50万円補助金を交付しており連合会及び、各単位老人会から、村に補助金増額の要望はない。

**問** 補助金の内容は、基本額一律4万8千円、50名を超える分1名につき900円加算される。これを一人当たり計算すると、一番高い団体で2181円、一番安い団体は938円になる。この不均衡の是正の考えは。

**答** 今のところは、現状どおり交付する。

### Q 中-16号線の延長は A 延長を図る

**問** 泉中学校建設時より、中-16号線をポートピアの信号付近に延長する計画があった。その計画地周辺には学校林があり、この道路が出来れば周辺開発が可能になり、住宅地として大変有望である。現在この計画はどうなっているのか、また、村長は進める考えはあるか伺う。

**答** 現在の計画は、中-16号線、水神池進入口からポートピア玉川付近の県道福島空港西線の交差点へ通じる路線として社会資本整備総合交付金



中-16号線(水神池進入口)

事業により2車線で計画している。整備後の道路沿線の様々な土地利用が図られることが想定されるため、重要な路線として整備を図る。

### Q 加工施設は何を A まだ決まっていない

**問** 道の駅(こぶしの里)拡張整備に当たり加工施設を作る、こぶしの里を利用されている農

家、生産者の関心は高く、賛否両論の意見が聞かれる。多額の村費を投入するので多くの意見を聞いて決めて欲しい。6月の議会では、何を加工するかも決まっていないとの事、現在までの進捗状況を伺う。

**答** 本事業は6月定例会で可決されたので6月26日に道の駅拡張整備事業設計監理業務委託の入札を行い業務委託した。今後は、加工施設の視察研修を行い、管理運営の人材の雇用、運営団体の組織化を進める。



拡張整備されるこぶしの里

一般質問

### Q下水施設管理について A委託し定期的に適切に 管理をしている



小林徳清 議員

**問** 去る7月竜崎原作田く滝山内住宅数軒において、排水管の詰まりが原因で、汚水があふれ使用者に下水排水に対し、不安感と不快感を抱かせる事故が発生した。排水施設の管理は村に有り適切な管理はされていたのか。

**答** 県土地改良事業団体連合会に委託し、定期的適切に管理がされている。



日ごろからの点検が大切である

**問** 洗浄の費用は。要した費用は約30万円。

**答** 事情説明と謝罪は。

**問** 何らかの原因で管路等が、通常通りに流れなかったと伝え、聞き取りを行い、不快な思いをさせ、迷惑をかけたと謝罪

**問** 事故発生後の対処は。

**答** 数か所のマンホールで、油等の半固形物が確認されたため、専門業者に依頼し、排水管の洗浄をした。

**問** 今後の事故発生防止対策は。

**答** 施設維持管理の徹底を図り、使用者に対し、排水設備の適正な使用方法等協力を願う。

**問** 維持管理責任は。

**答** 排水管と他の排水施設、これに接続して汚水を処理する施設は、村が管理と条例で定めている。

**問** 精神的苦痛、また、汚損等物的損害が発生した場合の補償は。

**答** 事実確認と、消毒等の要望を確認して対応したが、補償等の要望はなかった。

## 一般質問

### Q道の駅 看板設置について A設置に向けて、 新年度事業で検討する

**問** 所在を示し客を誘導案内目的で、設置される看板が少ないとの声が聞かれる。駅拡張整備を進めているところでもあり、出品者が期待し利用客の増を図るため、国道、空港西線沿いに目立つ看板の設置の考えは。

**答** 国道沿いの既存看板を修繕し、再利用を図る。空港西線は県屋外広告物条例により、第2種特別地域に含まれており、許可を得て設置に向けて、新年度事業で検討する。



車田幹夫 議員

**問** 村の第6次振興計画の中において、役場周辺の下水道未整備地区を排水事業により、早期着工を図るとしているが、排水処理場の4箇所から平成28年度中に1箇所を絞込む事について伺う。

Q 農業集落排水事業の進捗状況は  
A 計画どおり進める

**答** 国道118号の西側地区が予定地に最適とし、これから土地所有者に協力願う。

**問** 平成29年の県のヒアリングを経て事業認定、平成35年処理場完成、一部供用開始予定通り進むのか伺う。

**答** 平成30年の事業認定に向けたヒアリング等に合わせ業務を進める。



処理場予定地周辺

**要望** 協議会の役員の方々にしっかりと説明をし、スムーズな事業進展をお願いする。

Q 請願の対応について  
A 可能なものから整備する

**問** 各地域から出されている請願には、一日も早い完成、実現を願う村民の思いが込められている。

平成25年1月総務産業建設常任委員会がまとめた、請願等の検証結果の提言書の中で、着工した箇所と事業費を伺う。

**答** 平成26年度川辺字二ノ鳥居地区723万6千

円完了。

平成27年川辺中沖地内幹線排水路調査、28年3500万円着手、今年度完了。26～27年村道吉平10号線調査1023万7千円、今年度用地買収。平成27～29年度鬼淵堰調査850万円完了予定。村道山小12号線平成26～27年着手年次計画で整備する。これらの事業費には県、国の補助が約50%

**問** 提言書の提出以降から平成28年度までに請願されたものの中で、着工した箇所と事業費はいくらか。

**答** 平成22年中池694万5千円100%補助で完了。

平成23年川辺堂平堰360万7千円3分の2補助で完了。

平成25年小118号線水道1782万9千円全額

村費で完了。

**問** 今後の請願に対しての取り扱い対処について伺う。

**答** 総合的に検討しながら今後可能なものについて整備する。

**要望** 今後、請願に対して幾らかでも自主財源で当初予算で確保していくことはできないか。



着工された山小-2号線

一般質問



石井清勝 議員

### Q空き家対策の協議会 について A年度内に計画

**問** 空き家対策の協議会設置、内容、構成について。

**答** 協議会は、住民、議会、建築等に関する学識経験者らにより要綱に基づき構成し、年度内に進めたいと考えている。

### Q道の駅の設計委託の 経過について A 溝井建築設計事務所が 落札

**問** 道の駅の拡張整備事業の設計委託の経過について。

**答** 6月26日に指名業者7社選考し溝井建築設計事務所702万円(税込)で落札した。

**問** 6月定例会の説明では、約1300万円でしたが28年の決算報告中では、650万円とあるが。

**答** 手続き関係から諸経費が増加したため。

### Q工事発注について A一括での工事発注

**問** 道の駅の拡張整備事業の工事発注について。

**答** 一括管理して、円滑な諸手続きが必要であるなどの理由により一括発注する。

**問** 地元の建築業者が、J、Vを作って一括発注が出来ないか。

**答** 実績がないので発注ができない。

### Q法人の代表について A定款により、取締役会 また理事会で決議される

**問** 株式会社こぶしの里社長と社会福祉法人玉



トイレなどが整備される

川村社会福祉協議会の理事長が村長以外の方ができないか。

**答** 株式会社こぶしの里の定款により取締役会で決議される。

社会福祉法人玉川村社会福祉協議会の理事10名の理事会で決議される。

**問** 村の執行機関でないため村会議員も質問できない。村長も執行機関ですので代表を辞めてはいかがか。今言われている忬度と言われると思われる。

**答** それぞれの法人の役員の実任規定があるので、ご理解いただきたい。

総務産業建設常任委員会

# 請願・陳情箇所を調査

(10月5日)



生活道路には強い要望がある

請願・陳情で採択された箇所の調査を実施した。調査した中では、既に現道舗装で整備された箇所や同じく現道舗装整備中の箇所、村が事業に着手した箇所など現状は様々であった。

事業に着手されていない箇所で、住民生活や安心・安全、緊急性などから早期の事業化が望ましいと感じられた箇所もあり、委員会として優先順位による計画的な事業の推進を村に要望していくことにした。

## 文教厚生常任委員会

### 県立石川支援学校

# たまかわ校を訪問

10月10日に、本年8月に旧川辺小学校を活用し開校した石川支援学校たまかわ校を訪問し、学校運営等について説明を受け、児童・生徒たちの学校生活の様子などを見てきました。

支援が必要な児童生徒は年々増えているとのことで、教室を増やすなどの対策も考えていかなければならないと話されました。



地域密着の学校を目指しています



いしい 直也さん  
(小高)

Q村に對つて

**A** P T A会長を務めさせていたでいる立場的には、中学校の統合が一番気になります。既設2校のどちらかに統合するのか、新たに建設して統合するのか、いずれにしても次世代を担う子供たち

によりよい環境で学校生活を送って欲しい。そのための慎重審議をよろしく願います。

Q議会に期待する  
HJH

**A** 村内どの地区をみても危険箇所は必ず存在します。子供たちが安心して学び、安全に遊べる環境づくり、高齢者が安心して過ごせる環境づくりに期待します。

また、労働者が安心して勤められるように前述の実現の遂行とともに、過程の見える化を図っていただきたいです。



すずき まさよし  
鈴木 政義さん  
(北須釜)

Q村に對つて

**A** 企業の誘致を積極的に行ってもらい、人口の増加を目指し、若い世代の人々が安心して働ける村にしたいだけることを期待します。

Q議会に期待する  
HJH

**A** 地域住民の声がちんと反映されている魅力ある元気な玉川村を目標に頑張ってください。

検証 村民の声

No.146号

石井隆士さんより

「村政（こ）が聞きたい」のコーナーをもっと読みやすく、理解出来るように書いてほしい。

146号より改善

★文字を大きくした  
★字数を少なくした  
(1行13字から10字)

★写真の多用  
1ページに1枚以上の写真を入れる  
★空白をつくった

★新企画

村民の声の欄を設けた

課題

・ 条例改正や法律など専門用語が多い。  
・ 難しく堅い用語が多い。

・ お役所用語をやさしく置き換えるのが難しい。

さらに研究・工夫し、読みやすい議会だよりを目指したい。

あとがき

9月定例議会には、昨年開催された、福島県老人クラブ連合会の研修において、議会傍聴などすべきと、中松寿会の12名の会員が一般質問の議会傍聴をした。議員及び、議会活性のため大変意義ある事だと思います。年4回ある定例議会を、是非、傍聴してみたいかがでしょうか。

(小針竹千代)



中松寿会による花の手入れ